

## 「第72回全国植樹祭基本計画（案）について」に係る 県政経営幹事会議（12月20日）での議論

### ○PR会場の設置について

- ・PR会場の設置について、具体的にどのような場所で、どのようなことをしていくイメージなのか。

→ 京都・大阪など下流府県において、駅構内や公共施設など人の多く集まる場所で、大会までに全国植樹祭をPRしていきたいと考えている。具体的には、例えば疎水記念館や三川合流地点などで実施できれば、滋賀と下流府県とのつながりも見せられるので、候補として考えていきたい。内容については、この大会を契機として、下流府県の方に琵琶湖の水源の森の大切さを中心にPRしてまいりたい。

### ○SDGsの推進について

- ・この大会で取り組もうとされていることは、まさにSDGsに結びつくものだと思うので、SDGsの見える化にもつなげていただきたい。

→ 開催方針の中で、SDGsの視点を活かした大会とすることを位置づけているところ。例えば、プラスチック容器をできるだけ使わず紙容器等に変えていくことや、木を植えることでCO<sub>2</sub>の削減につなげるなど、様々な面でSDGsにつながるものと考えている。苗木のホームステイなど学校への出前講座の際にも発信しており、大会をPRする機会には、SDGsについてもしっかりと発信してまいりたい。

### ○お野立所の設計者について

- ・大会テーマやシンボルマークのように、お野立所の設計者については公表していかないのか。

→ お野立所については、先催県でも設計者まで公表されていないので、計画書には記載していないが、せっかく滋賀らしいデザインを作成していただいたので、設計者も含めてPRしていけるよう検討してまいりたい。